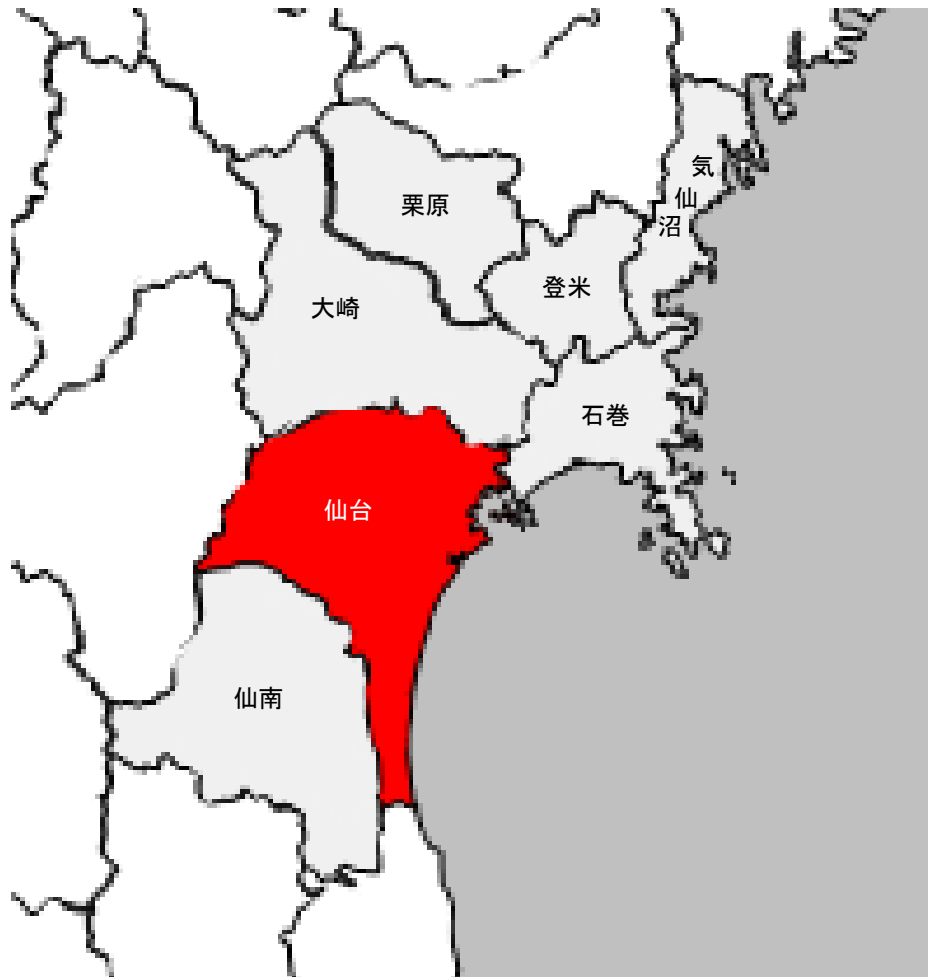


4. 宮 城 県



4. 宮城県

今回のデータは、東日本大震災以前の状況を表すものであり、震災の影響により宮城県、特に沿岸部の様相は大きく変化している。この場では震災前のデータをもとに宮城の現状と整備の方向性を考える。

A. 医療提供体制の現状

宮県の特徴は、(1) 少ない医療資源、特に県北 (2) 仙台の一極集中、そして (3) 仙台沿岸部、石巻、気仙沼への震災への影響である。

(1) 少ない医療資源、特に県北

県全体の病床数、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値は 50 を下回る。特に仙台より北の地域は、気仙沼の看護師の 52 を除けば、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数の偏差値が 50 を大きく下回る。栗原、登米、気仙沼は病院勤務医が少ないにも関わらず、一般病床の数が全国平均を大きく上回っており、高齢者施設的な病床が多いことが予想される。

(2) 仙台の一極集中

仙台に人口の 63% が集中しているが、病院勤務医の 74%、全身麻酔の 78%、看護師の 67% と、人口以上の割合で医療資源が仙台に集中している。石巻日赤病院、大崎市民病院、県南中核病院がそれぞれの地域の基幹病院として機能しているが、これらの基幹病院がある地域でも、人口当たりの病床数、病院勤務医数、全身麻酔数、看護師数は全国平均以下である。宮城県は基本的に医療資源が少ない県なので、仙台に医療資源が集中しているしわ寄せが他の地域に広がっていることが予想される。

(3) 仙台沿岸部、石巻、気仙沼への震災への影響

石巻、気仙沼は、震災前から病院勤務医、全身麻酔数が少ない地域であったが、震災により、今回のデータが示す状況以上に状況が悪化していることが予想される。

B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

(仙南)

仙南は、病床も少なく、病院勤務医、全身麻酔数、総看護師数も少なく、仙台への依存の強い地域である。2010→2035 年にかけて総人口が 19% 減、75 歳以上人口 40% 増であり、総需要は横ばい、0-64 歳の需要は 32% 減である。県南中核病院を中心とする地域医療のネット

ワークの強化と、高齢者向けの医療提供の強化が望まれる。

(仙台)

宮城県では仙台への医療の一極集中状態が起きているが、宮城県全体の医療資源が少ないので、仙台の人口当たりの病院勤務医数の偏差値が 51、全身麻酔数 52、総看護師数 49 と、他の医学部のある地域と比較して、決して高い水準にあるわけではない。仙台は 2010→35 年にかけて総人口 10%減、後期高齢者 88%増であり、医療の総需要 19%増、0-64 歳の医療需要 24%減、後期高齢者医療需要 88%増である。急性期病床は、現状維持または一部亜急性、回復期、療養などへの転換が望ましく、仙台の周辺地域の医師不足を考えると、まずは、高齢者や地域密着型医療に対応できる医師の確保が必要である。また、高齢者向けの医療提供の大幅な強化が必要である。

(大崎、栗原)

大崎は、基幹病院である大崎市民病院への集積が進み、栗原や登米の多くの患者の入院を受け入れている。一方、疾患によっては仙台に患者が流出している。病院勤務医数の偏差値が 44、全身麻酔数 47、総看護師数 46 である。2010→35 年の総人口が 22%減、後期高齢者が 26%増であり、総医療需要は横ばいである。大崎市民病院を中心とした地域のネットワークを強化し、現状維持を目指すべきであろう。

栗原は、病院勤務医、全身麻酔数、看護師数が少なく、大崎への依存が強い。総人口が 2010→35 年に 34%も減少するので、現在以上の医療資源の大幅増強は難しく、県立循環器呼吸器センターを維持しつつ、大崎とのネットワークの増強が重要である。

(登米、石巻、気仙沼)

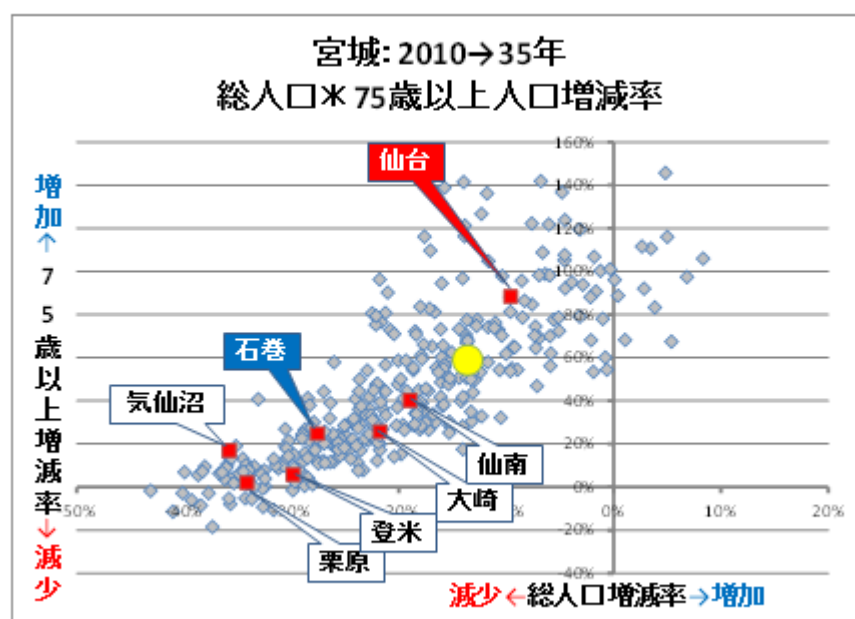
登米は、全国的に見ても医療資源の最も少ない地域の一つである。患者は自分の居住地に応じて石巻や大崎の拠点病院を受診する。今後の大幅な人口減少を考えると、現在以上の医療資源の大幅増強は難しく石巻や大崎とのネットワークの強化が重要である。

石巻と気仙沼は、震災前の状況を表す今回のデータでも、医療資源が少ない地域であるが、更に東日本大震災で大きな被害を受けた。この地域の基幹病院である石巻日赤病院を中心とした地域のネットワークを強化し、壊滅状況にある沿岸部の医療提供体制の復興を国策として早急に図る必要がある。

表 4-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→35年総人口増減率	2010→35年75歳以上人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-14%	59%
宮城県	2,348,165	15位	7,286	16位	322.3		22%	-16%	56%
仙南	183,679	8%	1,551	21%	118.4	過疎型	26%	-19%	40%
仙台	1,490,098	63%	1,649	23%	903.9	大都市型	19%	-10%	88%
大崎	210,789	9%	1,524	21%	138.3	過疎型	26%	-22%	26%
栗原	74,932	3%	805	11%	93.1	過疎型	33%	-34%	2%
登米	83,969	4%	536	7%	156.5	過疎型	28%	-30%	6%
石巻	213,780	9%	723	10%	295.5	地方都市型	27%	-28%	25%
気仙沼	90,918	4%	497	7%	182.9	過疎型	31%	-36%	17%

図 4-1 総人口と75歳以上人口の増減率（2010年→35年）



高橋泰、(株)ウェルネス、「二次医療圏データベース 集計集」2012

(A.「医療提供体制の現状」、表4-1、表4-2、表4-5、図4-4)

厚生労働省「医療計画の見直しに関する都道府県説明会資料」H.24.3

(図4-5)

表 4-2 総病床数、一般病床数、総高齢者ベッド数

二次医療圏	総病床数				一般病床数(再掲)				総高齢者ベッド数			
	総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	一般病床数(再掲)	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総高齢者ベッド数	県内シェア	75歳1000人当り	偏差値
全国	1,672,549		1,306	504	915,096		715	244	1,344,835		96	20.5
宮城県	27,372	1.6%	1,166	47	16,975	1.9%	723	50	22,730	1.7%	86	45
仙南	2,071	8%	1,128	46	1,030	6%	561	44	2,095	9%	78	41
仙台	17,414	64%	1,169	47	11,398	67%	765	52	13,134	58%	97	51
大崎	2,476	9%	1,175	47	1,159	7%	550	43	2,017	9%	66	36
栗原	860	3%	1,148	47	580	3%	774	52	1,143	5%	78	41
登米	1,111	4%	1,323	50	931	5%	1,109	66	982	4%	70	37
石巻	2,185	8%	1,022	44	1,154	7%	540	43	2,400	11%	83	44
気仙沼	1,255	5%	1,380	51	723	4%	795	53	959	4%	66	36

※偏差値の「全国」については標準偏差を示している。以下同様。

図 4-2 病床数(人口10万当たり)、総高齢者ベッド数(75歳以上1,000人当たり)

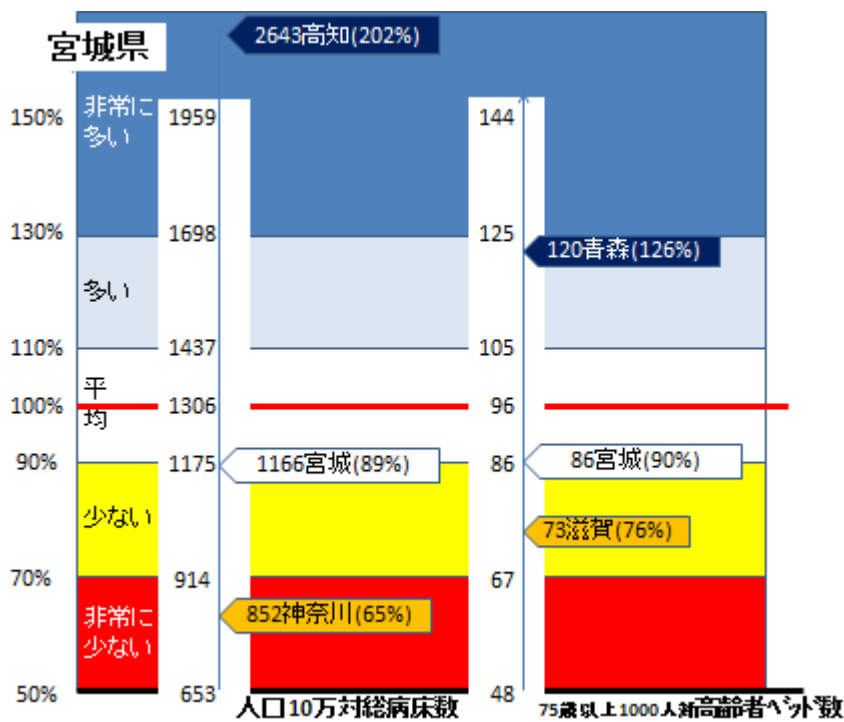


表 4-3 療養病床数、回復期病床数、精神病床数

二次医療圏	療養病床数				回復期病床数				精神病床数			
	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	333,717		261	208	61,697		48.2	44	349,345		273	211
宮城県	3,072	0.9%	131	44	998	1.6%	43	49	6,102	1.7%	260	49
仙南	286	9%	156	45	94	9%	51	51	653	11%	356	54
仙台	1,572	51%	105	43	688	69%	46	50	3,616	59%	243	49
大崎	647	21%	307	52	40	4%	19	43	616	10%	292	51
栗原	184	6%	246	49		0%	0	39	46	1%	61	40
登米	30	1%	36	39	30	3%	36	47	120	2%	143	44
石巻	313	10%	146	45	146	15%	68	55	563	9%	263	50
気仙沼	40	1%	44	40		0%	0	39	488	8%	537	62

表 4-4 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、療法士数

二次医療圏	救命救急センター				がん診療拠点病院				総療法士数			
	救命救急センター	県内シェア	人口100万当り	偏差値	がん診療拠点病院	県内シェア	人口100万当り	偏差値	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	203		1.59	2.43	377		2.94	3.5	87,999		68.7	38
宮城県	4	2.0%	1.7	50	7	1.9%	3.0	50	1,167	1.3%	50	45
仙南	0	0%	0	43	0	0%	0	42	66	6%	36	41
仙台	3	75%	2.0	52	5	71%	3.4	51	832	71%	56	47
大崎	1	25%	4.7	63	1	14%	4.7	55	71	6%	34	41
栗原	0	0%	0	43	0	0%	0	42	30	3%	40	42
登米	0	0%	0	43	0	0%	0	42	22	2%	26	39
石巻	0	0%	0	43	1	14%	4.7	55	124	11%	58	47
気仙沼	0	0%	0	43	0	0%	0	42	21	2%	23	38

表 4-5 病院勤務医数、総看護師数、DPC 病院での全身麻酔件数

二次医療圏	病院勤務医数				総看護師数				全身麻酔件数			
	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値
全国	157,166		123	53	843,730		659	222	1,790,784		1,398	795
宮城県	2,581	1.6%	110	48	14,272	1.7%	608	48	30,406	1.7%	1,295	49
仙南	138	5%	75	41	842	6%	458	41	1,530	5%	833	43
仙台	1,899	74%	127	51	9,588	67%	643	49	23,752	78%	1,594	52
大崎	194	8%	92	44	1,216	9%	577	46	2,464	8%	1,169	47
栗原	59	2%	79	42	414	3%	552	45	464	2%	619	40
登米	34	1%	40	34	406	3%	483	42	0	0%	0	32
石巻	191	7%	89	44	1,166	8%	545	45	2,196	7%	1,027	45
気仙沼	66	3%	73	41	641	4%	705	52	0	0%	0	32

図 4-3 病院勤務医数（人口 10 万人当たり）

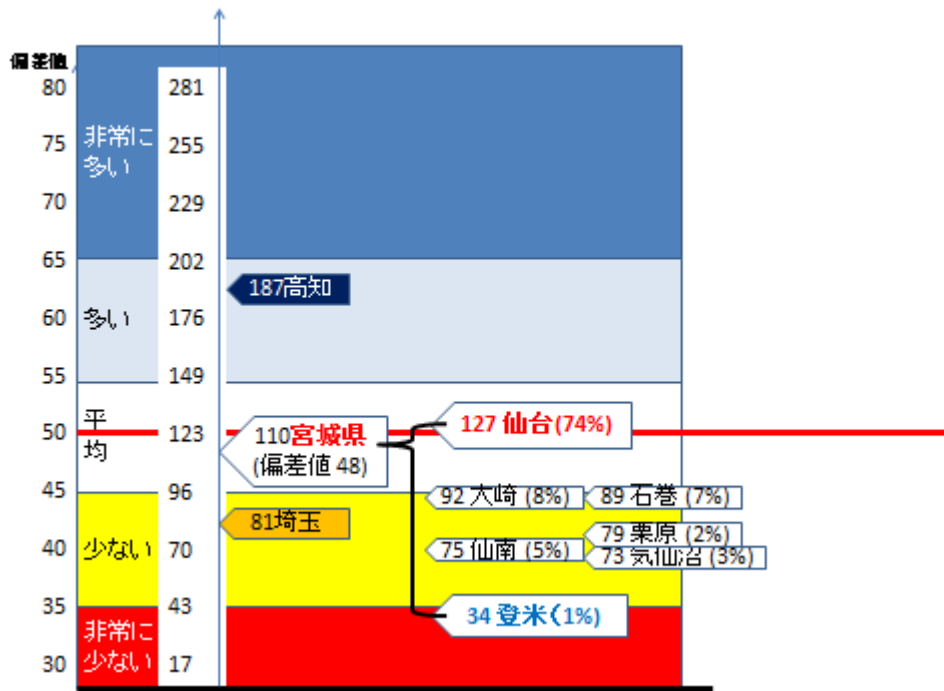
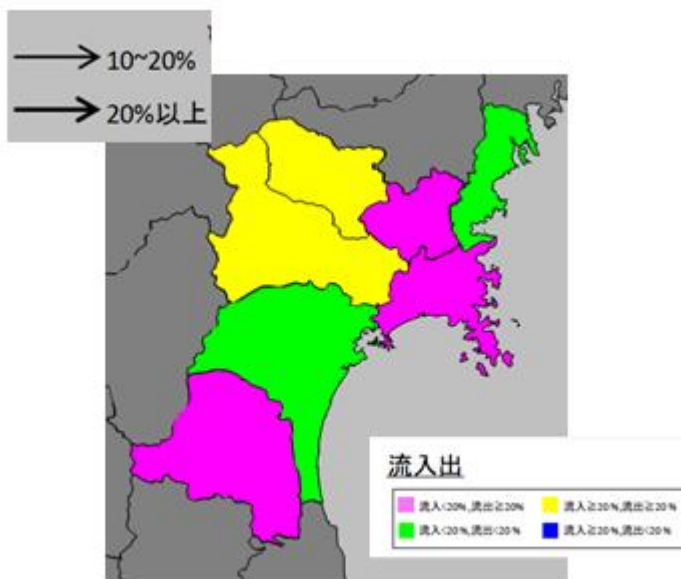


図 4-4 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



図 4-5 二次医療圏（流入出）



震災の影響で、岩手、宮城、福島の医療圏間の入院患者の移動のデータが発表されていないため、この3県の上記地図には、矢印が示されていない

表 4-6 介護保険施設ベッド数と高齢者施設収容数

二次医療圏	介護保険施設 ベッド数	全国シェア			老人保健施設収容数(再掲)				特別養護老人ホーム収容数(再掲)			
		県内 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	全国 シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値		
全国	704,693		50	11.6	308,426		22	5.6	396,267		28	10.1
宮城県	13,706	1.9%	52	51	7,186	2.3%	27	59	6,520	1.6%	25	46
仙南	1,550	11%	57	56	901	13%	33	70	649	10%	24	46
仙台	7,155	52%	53	52	3,752	52%	28	60	3,403	52%	25	47
大崎	1,386	10%	45	46	638	9%	21	48	748	11%	25	46
栗原	770	6%	53	52	400	6%	27	60	370	6%	25	47
登米	690	5%	49	49	325	5%	23	52	365	6%	26	48
石巻	1,440	11%	50	50	790	11%	27	60	650	10%	22	44
気仙沼	715	5%	49	49	380	5%	26	58	335	5%	23	45

表 4-7 高齢者住宅数（高齢者住宅、有料老人ホーム、グループホーム）

二次医療圏	高齢者住宅数合計	全国シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	有料老人 ホーム計	全国 シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値	グループ ホーム	全国 シェア 県内シェア	75歳 1,000 人当り	偏差値
全国	640,142		45	18.1	235,778		16.8	10.9	157,413		11.2	6.0
宮城県	9,024	1.4%	34	44	2,548	1.1%	9.6	43	3,087	2.0%	11.7	51
仙南	545	6%	20	36	89	3%	3.3	38	250	8%	9.3	47
仙台	5,979	66%	44	49	2,196	86%	16.2	50	1,620	52%	12.0	51
大崎	631	7%	21	36	55	2%	1.8	36	342	11%	11.2	50
栗原	373	4%	25	39	46	2%	3.1	37	204	7%	13.9	55
登米	292	3%	21	36	19	1%	1.4	36	167	5%	11.9	51
石巻	960	11%	33	43	143	6%	4.9	39	360	12%	12.4	52
気仙沼	244	3%	17	34	0	0%	0.0	35	144	5%	9.9	48

表 4-8 2010年→35年の介護・医療の需要予測

二次医療圏	地域 区分	2010→35 総医療 需要	2010→35 0-64歳 医療需要	65-74歳 医療需要	0-74歳 医療需要 (再計)	75歳以上 医療需要	2010→35 総介護 需要
全国		9%	-26%	-2%	-17%	59%	50%
宮城県		8%	-28%	0%	-19%	56%	48%
仙南	3	2%	-32%	-14%	-25%	40%	34%
仙台	1	19%	-24%	15%	-12%	88%	76%
大崎	3	-4%	-33%	-11%	-25%	26%	21%
栗原	3	-19%	-45%	-34%	-40%	2%	-1%
登米	3	-15%	-40%	-19%	-32%	6%	3%
石巻	2	-10%	-37%	-26%	-33%	25%	18%
気仙沼	3	-16%	-49%	-30%	-41%	17%	11%

図 4-6 宮城県 2010 年→35 年介護医療需要の増減予測

